

# 大和都市計画道路の変更案にかかる 公聴会の報告

## 1. 公聴会の日時及び場所

- 大和郡山会場 平成18年7月22日(土) 午前9時30分から  
やまと郡山城ホール 小ホール
- 奈良会場 平成18年7月30日(日) 午後1時30分から  
奈良県中小企業会館 大会議室

## 2. 作成しようとする都市計画の変更案

- 都市計画の種類 大和都市計画道路
- 都市計画の名称 1・4・3 京奈和自動車道(大和北道路)

## 3. 公聴会における意見

- 公述人の数 7名
- 意見の要旨及び県の考え方

番号	意見の要旨	県の考え方
1	<p>環境権を十分に考慮し持続可能な開発や地球温暖化の観点から、道路面積に対応した、樹木の量を持つ美しい道路を早急に造って欲しい。高架道路や高架下にも樹木を植え、樹木の量を確保して下さい。</p> <p>騒音や景観の観点から、市街地を通過する道路は原則として地下にして欲しい。</p> <p>地下に埋もれている木簡は泥と一体になっており、毛細管現象で湿った土と一体で乾燥することがない。地下水脈が変わっても泥と一体の木簡は乾燥せず、湿った土と一体で環境変化がないため、木簡を交換する問題はない。</p> <p>一日も早く全国の模範となるような緑豊かな道路を造って頂きたい。</p>	<p>高架下など道路空間内での植栽については、樹木の育成や道路管理の面も含めて検討する必要があると考えます。なお、今回の都市計画案においては、平面部の国道24号バイパス線に植樹帯を設ける計画となっています。</p> <p>都市計画案については、国道24号の渋滞緩和等の整備効果や、事業による文化財等周囲への影響、事業費、環境への影響等について作成しています。</p> <p>トンネル区間については、文化財(木簡)の保全と交通の利便性との調和がとれたルート構造を計画しています。</p>
2	<p>渋滞状況を見ると、大和北道路が必要なことは明らかである。</p> <p>古都奈良の文化財や景観を守るため、トンネルが市街地の地下で計画されているが、地盤沈下や振動、地震時の影響など工事中や完成後の不安がある。また、何故国道24号の下を極力利用しないのか疑問である。しかし、日本の土木技術は世界でもトップクラスであり、これまでの地下トンネルの実績を踏まえ検討されたものと理解している。</p> <p>また、トンネルの排気塔による排気ガスによる環境影響等に不安がある。</p> <p>トンネル計画については、環境影響の詳しい説明をできる限り多くの機会を設け、不安を取り除いて欲しい。</p>	<p>トンネル部のルートについては、国道24号の地下を通過する案についても、交通機能面や文化財等への影響、事業費、整備効果等を比較検証した結果、今回の案が選定されています。</p> <p>換気塔の設置に伴う周辺への環境影響については、現在県都市計画審議会環境影響評価検討専門部会において専門家の委員に審議頂いているところであり、その結果がまとも次第、地域住民の方々に対し環境影響評価準備書の内容に関する説明会を行うこととしています。</p> <p>また、都市計画決定後の事業実施段階では、事業者により、詳細な調査や用地補償、工事等の各段階で地元への説明を行うこととしています。</p>
3	<p>世界遺産の平城京跡や古都奈良の景観を守り、奈良中心部の市街地への影響を避けるためのトンネル計画は地域住民として歓迎すべき内容である。</p> <p>また、奈良インターチェンジが近くに計画され、アクセス道路として西九条佐保線の整備も計画され、便利になると期待しているが、周辺地域は住宅地や生活道路であるため、環境の問題とインターチェンジからの車が生活道路を抜け道として利用しないかなど渋滞も心配である。騒音や振動、大気などの環境影響を住民へ説明して欲しい。</p> <p>また、インターチェンジの利用交通量が西九条佐保線だけで大丈夫なのかについても検討して欲しい。</p> <p>渋滞は深刻であり、その解消のため必要な計画であるが、環境や交通安全にも十分な配慮をして欲しい。</p>	<p>インターチェンジ、アクセス道路の整備に伴い発生する通過交通に対しては、道路案内標識により目的地まで幹線道路を利用するよう事業実施段階で適切に誘導を行います。</p> <p>(仮称)奈良インターチェンジを利用する交通量は、(都)大和田紀寺線、(都)西九条佐保線、(都)大森高畑の3路線で奈良市中心部、東部等にアクセスする計画としています。</p> <p>インターチェンジの設置に伴う周辺への環境影響については、現在県都市計画審議会環境影響評価検討専門部会において専門家の委員に審議頂いているところであり、その結果がまとも次第、地域住民の方々に対し環境影響評価準備書の内容に関する説明会を行うこととしています。</p>

4	<p>県の観光産業の現状をみれば、京奈和自動車道が京都府界から郡山IC間が途切れていることが不安である。</p> <p>県の観光客が減少傾向にあるのは、県内の道路事情も大きな要因ではないか。観光ポイントを効率的に巡る行程が求められており、現状では観光シーズンには必ず交通渋滞が発生し、計画的な行程を組むことが困難な状況である。</p> <p>今春一部開通した京奈和自動車道も効果があるが、途中で途切れており一般道を利用しなければならず、時間がかかり行程変更が生じる。</p> <p>県内各地の世界遺産や数多くの寺社や豊かな自然などの観光資源を有効に活用し、県内観光客を増加させるため、効率よく計画的な行程が組めるよう大和北道路を早く計画決定して欲しい。</p> <p>大和北道路の計画は、奈良県の観光産業を発展させるためにも是非必要な計画である。</p>	<p>大和北道路の整備により、世界遺産等の豊かな観光資源が存在する奈良市と、県内各都市及び県外とのアクセスが向上し、県の経済活動の活性化及び広域的な観光振興を図ることが期待されています。</p> <p>県としては、都市計画及び環境影響評価の手続を慎重かつ着実に進めていく予定です。</p>
5	<p>今春一部開通した京奈和自動車道により、奈良市から橿原市や大和高田市への移動時間が短縮され、広域的な事業活動ができるなど恩恵を受けている。</p> <p>建設業は、工事中に文化財等を破壊していると思われるが、文化財は事前に発掘調査され、記録・保存されてから工事を行っており、遺産や文化財の保全と開発は両立できる信じている。</p> <p>世界遺産や文化財も守る必要があり、道路と文化財の調和を考えて検討され、そのため大和北道路の一部分がトンネル構造に決まったと思う。最新の土木技術により、貴重な文化財を保全しながら大和北道路の建設は可能である。</p> <p>また、大和北道路の建設時には、適切な時期や区域を設定し、町並みの保全・保護を考えたまちづくりを行って欲しい。乱開発されないよう、古いものと新しいものが調和された新しい町並みを形成していくように誘導して欲しい。</p> <p>文化財の保全や町並みの保護も大切だが、それにも増して一刻も早く京奈和自動車道の全線開通を願う。</p>	<p>道路建設に伴う埋蔵文化財については、工事の実施にあたって、関係機関と協議を行い、埋蔵文化財に関する発掘調査を行います。発掘調査の結果を受けて、再度、関係機関と協議を行い、記録保存等の処理を講ずることにより、文化財保護法に基づき適正に処置していくこととしています。</p> <p>大和北道路の整備に伴う将来のまちづくりに関する土地利用計画や用途地域の変更については、土地利用の動向や地元市の意向等を踏まえて、今後慎重に検討していくこととしています。</p> <p>県としては、都市計画及び環境影響評価の手続を慎重かつ着実に進めていく予定です。</p>
6	<p>救命救急医療は、少しでも早い患者搬送が求められる。県内は、特に南北の道路渋滞がひどく、救急車が速く走れないことが多い。今春、一部区間の京奈和自動車道が開通し、その快適さや時間短縮には驚かされ、一刻も早く奈良市内まで行ければと思う。</p> <p>また、一般道路の状況が改善され、国道24号の渋滞減少だけでなく、周辺の広い範囲で車の通行量が減少し、より多くの地域で救急車がスムーズに出動できるようになった。</p> <p>大和北道路は、人口集中や渋滞状況もひどい奈良市、大和郡山市にもっと早く造られているべきであった。平城宮跡を避け、深い位置でのトンネルであり、文化財や景観にも十分配慮されており、ICの配置やアクセス道路からみて、市街地の通過交通の排除による渋滞解消により、救急活動の迅速化も期待できる計画である。</p> <p>優秀な県内医療資源を活用するために必要な計画であり、一日も早い実現を願う。</p>	<p>大和北道路の整備により、国道24号の渋滞緩和や交通事故の減少、走行時間の短縮、定時制の確保、医療サービスの向上を図ることが期待されています。</p> <p>県としては、都市計画及び環境影響評価の手続を慎重かつ着実に進めていく予定です。</p>
7	<p>運送業の最大の課題は、最近の軽油高騰であり、総経費の20%を占める燃料費と、貨物の減少や運賃の下落により、経営コストの削減の必要に迫られている。中京や近畿方面は、ほとんど一般道を利用しており、走行距離や時間は多くかかる。</p> <p>県内では、五條市から奈良市までの約55kmの間に信号機は141箇所あり、信号待ちでの燃費が片道11.2L、1,064円、実走行の燃費が約18L、1,714円であり、信号待ちや渋滞による燃費などのロスが大きい。</p> <p>郡山から大阪泉南方面まで、一般道で片道2時間から3時間、西名阪郡山ICから藤井寺ICの利用で約1時間、通行料金一往復5,900円の負担となる。今春、大和道路が無料供用され、大和道路を利用し橿原から南阪奈道路を利用すれば、一往復1,400円で約1時間45分で走行できると喜んでいる。</p> <p>京奈和自動車道の全線開通は輸送コストの削減や地域経済に及ぼす効果は計り知れない。都市計画手続に2年余りを要する、埋蔵文化財保存への杞憂と盤根錯節の中、交通インフラの整備による本県経済基盤の確立と活性化のために一日も早い工事着工を決定して欲しい。</p>	<p>大和北道路の整備により、県内各都市及び県外とのアクセスが向上し、県の経済活動の活性化や国道24号の渋滞緩和や走行時間の短縮、定時制の確保等を図ることが期待されています。</p> <p>県としては、都市計画及び環境影響評価の手続を慎重かつ着実に進めていく予定です。</p>

奈良県土木部都市計画課

TEL : 0742-27-7521 FAX : 0742-27-7685

ホームページアドレス <http://www.pref.nara.lg.jp/toshi/>